

エンゲージメント

地域・社会

インドネシアでの官民学共同の取り組み

サステナビリティプログラム「OTSUKA BLUE PLANET」

インドネシアのPTアメルタインダ大塚では、2022年9月に工場周辺自治体や住民を対象としたサステナビリティプログラム「OTSUKA BLUE PLANET」に関する協定を環境林業省と締結し、下記の3つを推進しています。

- 1 エコビレッジプロジェクト：廃棄物を大切にすることを身につけ、廃棄物を自主的に管理できるコミュニティ環境づくりを目的に、ゴミ処理・廃棄物管理を行うことができる施設を地域の人々と共同で運営しています。



- 2 エコブルースクールプロジェクト：高校生や教職員を対象に、学校周辺の美化、ゴミの管理、ペットボトルのリサイクルなど、より良い環境づくりのためのリサイクル活動や教育を行っています。



- 3 エコボトルプロジェクト：リサイクルPET樹脂を利用したポカリスエットPETボトルの製造販売*をしています。

* リサイクルPET樹脂30%使用

業界団体

大塚グループでは全国清涼飲料連合会（全清飲）をはじめとするさまざまな業界団体と共同で、環境に関する取り組みを進めています。全清飲ではPETボトルの資源循環として水平リサイクル「ボトルtoボトル」の推進をはじめ、業界の発展とサステナブルな社会の実現を目指しています。

 [PETボトル「ボトルtoボトル」水平リサイクルの推進](#)

ステークホルダーとの関わり

大塚グループは、さまざまなステークホルダーとの信頼関係の構築を目指し、環境に配慮した取り組みを進めています。

 [ステークホルダーエンゲージメント](#)